## 仕合わせの





明けまして おめでとう 御座います。

本年もどうぞ 申し上げます。 よろしくお願い

住職 谷川寬俊

たちの力にならないはずがありません。

「行学二道」という言葉があります。

第250号 令和5年1.1

(毎月1日発行)

思っても、自分が生み出した不平不満 上を求めたくなります。 で苦しみます。恵まれた環境になって 時満足したとしても、やがてさらに 私達は普段「これではいけない」と

りません。

修行と言っても難しい事ばかりではあ

行(修行)を大事にします。

ることは困難です。ですから仏教では、 それだけで自分のあり方を大きく変え

あらわれますように

私の親しい人々に悟りの光が

叶えられますように

私の親しい人々の願うことが

なくなりますように

私の親しい人々の悩み苦しみが

私の親しい人々が幸せでありますようには

原点だと言えます。 ことが出来ませんでした。苦しみとど 出してこられました。その教えが、私 そして自らの苦しみと向き合い光を見 時代時代の人達が、必死に自分自身、 が経過しても、お釈迦様の教えを元と お釈迦様が亡くなられてかなりの時間 う向き合い、なくしていくかが仏教の でも悟りを得るまで苦しみから逃れる としてお生まれになり、何の不自由な し、新たなお経が数多く作られました。 く恵まれた環境で育ちましたが、それ お釈迦様はインドのカピラ城の王子

• FAX 0765-22-2268

080-3744-2523 こちらの番号でも

私の願うことが叶えられますように

私の悩み苦しみがなくなりますように

私が幸せでありますように

私の悟りの光があらわれますように

ように 叶えられますように あらわれますように 生きとし生けるものの悟りの光が 生きとし生けるものの願うことが なくなりますように 生きとし生けるものの悩み苦しみが 生きとし生けるものが幸せであります

すべての人々が幸せでありますように すべての人々が幸せでありますように すべての人々が幸せでありますように

格を得ており、何度か本堂で、実施し 研修を受けて瞑想の指導者としての資 の瞑想」があります。副住職もかつて が広く行っている修行の一つに「慈悲 は大勢います。そして世界中の仏教徒 番大事な修行とされ、実践している人 うお題目を集中して唱えることが、 日蓮宗の場合「南無妙法蓮華経」とい

構いません。又、場所も選びません。 口で唱えても、心の中で唱えても

学ぶことはとても大事で、役に立つ知

識があると人生は大分違ってきますが

普段自分のことしか考えられないよう ものが分かるような気持ちになります。 落ち着きや、相手を思う優しさと言う な時にこそ、優しい心を自分から周り た事があります。体験して確かに心の へと広げていくための瞑想です。 こ参考まで記します。

幸せを生みます。 どこにいても一日一回唱える習慣は 実践してみて下さい。 今年は自利利他の心で、 皆様も是非